



# 鈴木氏・根岸氏 化学賞

## ノーベル賞、日本18人に



根岸英一さん



鈴木章さん

スウェーデンの王立科学アカデミーは6日、10年のノーベル化学賞を、鈴木章・北海道大名誉教授(80)、根岸英一・米パーデュー大特別教授(75)、リチャード・ヘック・デラウェア大名誉教授(79)に贈ると発表した。業績は「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」。鈴木さんは、プラスチックや医薬品といった有機化合物の骨格となる「炭素」同士を結合させる画期的な合成法を発見。汎用性が高く、世界中で使われている。根岸さんとヘックさんは、鈴木さんに先だって、パラジウム触媒を使った合成反応を開発した。

日本のノーベル賞受賞は17、18人目となる。化学賞は6人目、7人目。

授賞式は12月10日にストックホルムである。賞金の1千万円(約1億2千万円)は受賞者3人で分ける。鈴木さんが発見した有機合成法は「鈴木カップリング反応」として世界的に知られる。北海道大教授だった79年に発見した。

同時受賞の根岸さんは、70年代初め、有機亜鉛化合物と有機ハロゲン化合物とをパラジウムまたはニッケル触媒で反応させ、炭素と炭素がつながった生成物を得る反応を開発した。